

## 基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	研究科の専攻の設置								
フリガナ設置者	コリツダガクホリゲンニイガタガク 国立大学法人 新潟大学								
フリガナ大学の名称	ニイガタガクホリケン 新潟大学大学院 (Niigata University Graduate School)								
大学本部の位置	新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地								
大学の目的	学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学術及び卓越した能力を培い文化の進展に寄与することを目的とする。								
新設学部等の目的	摂食・口腔機能の維持向上、安心・安全な食介護の推進に関し、口腔を中心とした生命医療科学を基盤としながら、保健・医療と社会福祉学領域等との学際的研究を推進できる指導的教育研究者および地域・国際社会において指導的役割を果たせる高度専門職業人を養成することを目的とする。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	医歯学総合研究科 [Graduate School of Medical and Dental Sciences] 口腔生命福祉学専攻 (博士後期課程) [Doctor's Program of Oral Health and Welfare Science] 計	3年	3人	-	9人	博士(口腔保健福祉学又は学術)	平成22年4月第1年次	新潟県新潟市中央区学校町通2番町5274番地	
			3	-	9				【基礎となる学部等】 歯学部口腔生命福祉学科、大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻(修士課程)  14条特例の実施
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	<p>・平成22年4月 人文学部 行動科学課程 (改組) 地域文化課程 225 人文学科 225 情報文化課程</p> <p>・平成22年4月 (専攻の廃止) 自然科学研究科                  自然構造科学専攻 M 63 D 17                  材料生産システム専攻 M134 D 19                  生命・食料科学専攻 M 73 D 17                  環境共生科学専攻 M 78 D 15                  数理・情報電子工学専攻 M108                  人間支援科学専攻 M 31                  情報理工学専攻 M487 D 21                  D 89</p> <p>(専攻の設置) 数理解析科学専攻 M 63 D 13                  材料生産システム専攻 M143 D 16                  電気情報工学専攻 M122 D 13                  生命・食料科学専攻 M 70 D 13                  環境科学専攻 M 89 D 15                  計 M487 D 20</p> <p>・平成22年4月 医歯学総合研究科 口腔生命科学専攻〔定員減〕 32 28(4)</p> <p>・平成22年4月 医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻(修士課程)〔改称〕 医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻(博士前期課程)</p> <p>・平成22年4月 実務法学研究科 実務法学専攻〔定員減〕 60 35(25)</p>								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	医歯学総合研究科 口腔生命福祉学専攻(博士後期課程)	講義	演習	実験・実習	計				
		1科目	9科目	0科目	10科目	12単位			

	学部等の名称	専任教員等					助手	兼任 教員等	
		教授	准教授	講師	助教	計			
		人	人	人	人	人	人	人	
教員組織の概要	新設分	大学院医歯学総合研究科	5	5	0	2	12	0	1
		口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）	(6)	(5)	(0)	(2)	(13)	(0)	(1)
		計	5	5	0	2	12	0	1
			(6)	(5)	(0)	(2)	(13)	(0)	(1)
	既設分	教育学研究科							
		修士課程							
		学校教育専攻	8	12	0	0	20	0	4
			(8)	(12)	(0)	(0)	(20)	(0)	(4)
		教科教育専攻	35	36	0	0	71	0	0
			(35)	(36)	(0)	(0)	(71)	(0)	(0)
		計	43	48	0	0	91	0	4
			(43)	(48)	(0)	(0)	(91)	(0)	(4)
		保健学研究科							
		博士課程（前期2年の課程）							
	保健学専攻	28	14	1	3	46	0	9	
		(28)	(14)	(1)	(3)	(46)	(0)	(9)	
	計	28	14	1	3	46	0	9	
		(28)	(14)	(1)	(3)	(46)	(0)	(9)	
	保健学研究科								
博士課程（後期3年の課程）									
保健学専攻	21	11	0	0	32	0	3		
	(21)	(11)	(0)	(0)	(32)	(0)	(3)		
計	21	11	0	0	32	0	3		
	(21)	(11)	(0)	(0)	(32)	(0)	(3)		
現代社会文化研究科									
博士課程（前期2年の課程）									
現代文化論専攻	19	21	0	0	40	0	0		
	(19)	(21)	(0)	(0)	(40)	(0)	(0)		
共生社会論専攻	26	21	1	0	48	0	0		
	(26)	(21)	(1)	(0)	(48)	(0)	(0)		
社会文化論専攻	25	18	0	0	43	0	8		
	(25)	(18)	(0)	(0)	(43)	(0)	(8)		
現代マネジメント専攻	4	12	2	0	18	0	0		
	(4)	(12)	(2)	(0)	(18)	(0)	(0)		
計	74	72	3	0	149	0	8		
	(74)	(72)	(3)	(0)	(149)	(0)	(8)		
現代社会文化研究科									
博士課程（後期3年の課程）									
人間形成文化論専攻	22	24	0	0	46	0	0		
	(22)	(24)	(0)	(0)	(46)	(0)	(0)		
地域社会形成論専攻	26	13	0	0	39	0	0		
	(26)	(13)	(0)	(0)	(39)	(0)	(0)		
国際社会形成論専攻	23	26	0	0	49	0	0		
	(23)	(26)	(0)	(0)	(49)	(0)	(0)		
計	71	63	0	0	134	0	0		
	(71)	(63)	(0)	(0)	(134)	(0)	(0)		
自然科学研究科									
博士課程（前期2年の課程）									
自然構造科学専攻	22	19	1	0	42	0	18		
	(22)	(19)	(1)	(0)	(42)	(0)	(18)		
材料生産システム専攻	24	13	0	0	37	0	11		
	(24)	(13)	(0)	(0)	(37)	(0)	(11)		
生命・食料科学専攻	22	21	1	0	44	0	13		
	(22)	(21)	(1)	(0)	(44)	(0)	(13)		
環境共生科学専攻	27	25	3	3	57	0	20		
	(27)	(25)	(3)	(3)	(57)	(0)	(20)		
数理・情報電子工学専攻	25	19	0	1	45	0	10		
	(25)	(19)	(0)	(1)	(45)	(0)	(10)		
人間支援科学専攻	6	5	0	0	11	0	6		
	(6)	(5)	(0)	(0)	(11)	(0)	(6)		
計	126	102	5	4	237	0	78		
	(126)	(102)	(5)	(4)	(237)	(0)	(78)		

学部等の名称	専任教員等						兼任 教員等
	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
既設分	人	人	人	人	人	人	人
自然科学研究科 博士課程（後期3年の課程）							
自然構造科学専攻	22 (22)	19 (19)	1 (1)	0 (0)	42 (42)	0 (0)	7 (7)
材料生産システム専攻	25 (25)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	38 (38)	0 (0)	4 (4)
生命・食料科学専攻	22 (22)	21 (21)	0 (0)	0 (0)	43 (43)	0 (0)	10 (10)
環境共生科学専攻	27 (27)	23 (23)	2 (2)	0 (0)	52 (52)	0 (0)	2 (2)
情報理工学専攻	30 (30)	23 (23)	0 (0)	0 (0)	53 (53)	0 (0)	4 (4)
計	126 (126)	99 (99)	3 (3)	0 (0)	228 (228)	0 (0)	27 (27)
医歯学総合研究科 修士課程							
医科学専攻	29 (29)	22 (22)	7 (7)	0 (0)	58 (58)	0 (0)	0 (0)
口腔生命福祉学専攻	6 (6)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)
計	35 (35)	28 (28)	7 (7)	0 (0)	70 (70)	0 (0)	0 (0)
医歯学総合研究科 博士課程							
分子細胞医学専攻	17 (17)	23 (23)	13 (13)	48 (48)	101 (101)	0 (0)	7 (7)
生体機能調節医学専攻	22 (22)	28 (28)	30 (30)	71 (71)	151 (151)	0 (0)	4 (4)
地域疾病制御医学専攻	9 (9)	8 (8)	6 (6)	18 (18)	41 (41)	0 (0)	3 (3)
口腔生命科学専攻	18 (18)	21 (21)	8 (8)	9 (9)	56 (56)	0 (0)	21 (21)
計	66 (66)	80 (80)	57 (57)	146 (146)	349 (349)	0 (0)	35 (35)
技術経営研究科 専門職学位課程							
技術経営専攻	7 (7)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	1 (1)	25 (25)
計	7 (7)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	1 (1)	25 (25)
実務法学研究科 専門職学位課程							
実務法学専攻	23 (23)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	31 (31)	1 (1)	14 (14)
計	23 (23)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	31 (31)	1 (1)	14 (14)
合計	366 (367)	330 (330)	66 (66)	155 (155)	917 (918)	2 (2)	204 (204)
教員以外の職員 の概要	職 種	専 任		兼 任		計	
	事 務 職 員	352 人 (352)		17 人 (17)		369 人 (369)	
	技 術 職 員	970 (970)		58 (58)		1,028 (1,028)	
	図 書 館 専 門 職 員	22 (22)		2 (2)		24 (24)	
	そ の 他 の 職 員	14 (14)		31 (31)		45 (45)	
	計	1,358 (1,358)		108 (108)		1,466 (1,466)	
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	
	校 舎 敷 地	6,088,385 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		6,088,385 m <sup>2</sup>	
	運 動 場 用 地	137,312 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		137,312 m <sup>2</sup>	
	小 計	6,225,697 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		6,225,697 m <sup>2</sup>	
	そ の 他	3,597 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		3,597 m <sup>2</sup>	
合 計	6,229,294 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		6,229,294 m <sup>2</sup>		

校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
		414,029 m <sup>2</sup> ( 414,029 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	414,029 m <sup>2</sup> ( 414,029 m <sup>2</sup> )						
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体				
	146室	124室	607室	36室 (補助職員 人)	6室 (補助職員 人)						
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数							
		医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻		10 室							
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 (うち外国書) 冊	学術雑誌 (うち外国書) 種	電子ジャーナル (うち外国書)	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点				
	医歯学総合研究科 口腔生命福祉学専攻	73,553 [21,301] (73,553 [21,301])	618 [ 330] (618 [ 330])	2,061 [ 1,371] (2,061 [ 1,371])	342 ( 342 )	1,479 ( 1,479 )	83 ( 83 )				
	計	73,553 [21,301] (73,553 [21,301])	618 [ 330] (618 [ 330])	2,061 [ 1,371] (2,061 [ 1,371])	342 ( 342 )	1,479 ( 1,479 )	83 ( 83 )				
図 書 館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		14,245 m <sup>2</sup>		1,074		1,085,788					
体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
		6,246 m <sup>2</sup>		陸上競技場, 第1, 第2野球場, サッカー, ラグビー場, テニスコート, バレーコート, プール, 馬場, グラウンド							
経 費 積 立 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費による	
		教員1人当り研究費等	-	-	-	-	-	-	-		
		共同研究費等	-	-	-	-	-	-	-		
		図書購入費	-	-	-	-	-	-	-		
		設備購入費	-	-	-	-	-	-	-		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			運営費交付金、寄付金等								
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	新潟大学									
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地		
	人文学部	年	人	年次 人	人		倍				
	行動科学課程	4	75	3年次 20	300	学士 (文学)	1.04	昭和55 年度	新潟県新潟市西区 五十嵐2の町8050 番地		
	地域文化課程	4	100		400		1.03				
	情報文化課程	4	50		200		1.07				
	教育学部							平成20 年度			
	学校教員養成課程	4	220	-	880	学士 (教育学)	1.02		新潟県新潟市西区 五十嵐2の町8050 番地		
	学習社会ネットワーク課程	4	45	-	180	学士 (人間科学)	1.07				
	生活科学課程	4	15	-	60	学士 (生活科学)	1.09				
	健康スポーツ科学課程	4	30	-	120	学士(健康ス ポーツ科学)	1.05				
	芸術環境創造課程	4	60	-	240	学士 (芸術)	1.09				
	(従前の学部)										
	教育人間科学部							平成10 年度			平成20年度より 学生募集停止
学校教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-		新潟県新潟市西区 五十嵐2の町8050 番地			
学習社会ネットワーク課程	4	-	-	-	学士 (人間科学)	-					
生活環境科学課程	4	-	-	-	学士(生活環 境科学)	-					
健康スポーツ科学課程	4	-	-	-	学士(健康ス ポーツ科学)	-					
芸術環境創造課程	4	-	-	-	学士 (芸術)	-					

既設大学等の状況	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	法学部						学士(法学)	1.05	昭和55
法学科	4	180	3年次5	730		1.05			
経済学部						学士(経済学)	1.04	昭和55年度	新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
経済学科(昼間コース)	4	160	3年次10	660		1.03			
経済学科(夜間主コース)	4	25	-	100		1.07			
経営学科(昼間コース)	4	105	3年次5	430		1.04			
経営学科(夜間主コース)	4	15	-	60		1.13			
理学部						学士(理学)	1.08	昭和24年度	新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
数学科	4	35	3年次10	140		1.08			
物理学科	4	45		180		1.11			
化学科	4	35		140		1.08			
生物学科	4	20		80		1.11			
地質科学科	4	25		100		1.05			
自然環境科学科	4	30		120		1.08			
医学部						学士(医学)	1.00	昭和24年度	新潟県新潟市中央区旭町通1番町757番地
医学科	6	115	2年次5	715		1.00			
保健学科	4	160	3年次20	680	学士(看護学)(保健学)	1.00			
歯学部						学士(歯学)	1.00	昭和40年度	新潟県新潟市中央区学校町2番町5274番地
歯学科	6	40	3年次5	260		1.00			
口腔生命福祉学科	4	20	3年次6	100	学士(口腔保健福祉学)	1.00			
工学部						学士(工学)	1.07	昭和24年度	新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
機械システム工学科	4	88	3年次20	352		1.05			
電気電子工学科	4	73		292		1.09			
情報工学科	4	64		256		1.06			
福祉人間工学科	4	50		200		1.12			
化学システム工学科	4	78		312		1.04			
建設学科	4	78		312		1.05			
機能材料工学科	4	49		196		1.11			
農学部						学士(農学)	1.07	昭和24年度	新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
農業生産科学科	4	55	3年次10	220		1.06			
応用生物化学科	4	50		200		1.11			
生産環境科学科	4	50		200		1.06			

既設大学等の状況	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	教育学研究科 修士課程					修士 (教育学)	1.04	昭和59年度	新潟県新潟市西区 五十嵐2の町8050番地	
	学校教育専攻	2	20	-	30		1.22			
	教科教育専攻	2	32	-	64		1.02			
	保健学研究科 博士課程(前期2年の課程)							1.02	平成16年度	新潟県新潟市中央 区旭町通2番町746番地
	保健学専攻	2	20	-	40	修士 (保健学)	1.02			
	保健学研究科 博士課程(後期3年の課程)							1.05	平成19年度	新潟県新潟市中央 区旭町通2番町746番地
	保健学専攻	3	6	-	18	博士 (保健学)	1.05			
	現代社会文化研究科 博士課程(前期2年の課程)							0.92	平成16年度	新潟県新潟市西区 五十嵐2の町8050番地
	現代文化論専攻	2	15	-	30	修士 (学術) (文学) (法学)	0.76			
	共生社会論専攻	2	20	-	40	(行政学) (経済学)	0.82			
	社会文化論専攻	2	15	-	30	(公共経済学) (経営学)	1.03			
	現代マネジメント専攻	2	10	-	20		1.20			
	現代社会文化研究科 博士課程(後期3年の課程)							0.86	平成16年度	新潟県新潟市西区 五十嵐2の町8050番地
	人間形成文化論専攻	3	4	-	12	博士 (学術) (文学) (法学)	1.75			
	地域社会形成論専攻	3	8	-	24	(経済学) (教育学)	0.79			
	国際社会形成論専攻	3	8	-	24		0.49			
	自然科学研究科 博士課程(前期2年の課程)							1.03	平成7年度	新潟県新潟市西区 五十嵐2の町8050番地
	自然構造科学専攻	2	63	-	126	修士 (学術) (理学) (工学)	0.91			
	材料生産システム専攻	2	134	-	268	(農学)	1.07			
	生命・食料科学専攻	2	73	-	146		1.03			
	環境共生科学専攻	2	78	-	156		0.99			
	数理・情報電子工学専攻	2	108	-	216		1.03			
	人間支援科学専攻	2	31	-	62		1.19			
	自然科学研究科 博士課程(後期3年の課程)							0.71	平成7年度	新潟県新潟市西区 五十嵐2の町8050番地
	自然構造科学専攻	3	17	-	51	博士 (学術) (理学) (工学)	0.76			
	材料生産システム専攻	3	19	-	57	(農学)	0.80			
	生命・食料科学専攻	3	17	-	51		0.76			
環境共生科学専攻	3	15	-	45		0.61				
情報理工学専攻	3	21	-	63		0.61				

既設大学等の状況	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	医歯学総合研究科 修士課程						0.94	平成15年度	新潟県新潟市中央区旭町通1番町757番地	
	医科学専攻	2	20	-	40	修士(医科学)	0.90			
	口腔生命福祉学専攻	2	6	-	12	修士(口腔生命福祉学)	1.08			
	医歯学総合研究科 博士課程						0.85	平成13年度	新潟県新潟市中央区旭町通1番町757番地	
	分子細胞医学専攻	4	22	-	88	博士(医学)	0.86			
	生体機能調節医学専攻	4	37	-	148	博士(歯学)	0.83			
	地域疾病制御医学専攻	4	14	-	56	博士(学術)	0.81			
	口腔生命科学専攻	4	32	-	128		0.89			
	技術経営研究科 専門職学位課程							1.00	平成18年度	新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
	技術経営専攻	2	20	-	40	技術経営修士(専門職)	1.00			
	実務法学研究科 専門職学位課程							0.70	平成16年度	新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
	実務法学専攻	3	60	-	180	法務博士(専門職)	0.70			
附属施設の概要		該当なし								

## 新潟大学 設置計画に関わる組織の移行表

平成21年度	入学定員	平成22年度	入学定員	変更の事由
人文学部		人文学部		
行動科学課程	75	人文学科	225	学科の設置（事前伺い）
地域文化課程	100			
情報文化課程	50			
3年次編入学（学部共通）	20	3年次編入学	20	
教育学部		教育学部		
学校教員養成課程	220	学校教員養成課程	220	
学習社会ネットワーク課程	45	学習社会ネットワーク課程	45	
生活科学課程	15	生活科学課程	15	
健康スポーツ科学課程	30	健康スポーツ科学課程	30	
芸術環境創造課程	60	芸術環境創造課程	60	
法学部		法学部		
法学科	180	法学科	180	
3年次編入学	5	3年次編入学	5	
経済学部		経済学部		
経済学科（昼間コース）	160	経済学科（昼間コース）	160	
3年次編入学	10	3年次編入学	10	
（夜間主コース）	25	（夜間主コース）	25	
経営学科（昼間コース）	105	経営学科（昼間コース）	105	
3年次編入学	5	3年次編入学	5	
（夜間主コース）	15	（夜間主コース）	15	
理学部		理学部		
数学科	35	数学科	35	
物理学科	45	物理学科	45	
化学科	35	化学科	35	
生物学科	20	生物学科	20	
地質科学科	25	地質科学科	25	
自然環境科学科	30	自然環境科学科	30	
3年次編入学（学部共通）	10	3年次編入学（学部共通）	10	
医学部		医学部		
医学科	115	医学科	115	
2年次編入学	5	2年次編入学	5	
保健学科	160	保健学科	160	
3年次編入学	20	3年次編入学	20	
歯学部		歯学部		
歯学科	40	歯学科	40	
3年次編入学	5	3年次編入学	5	
口腔生命福祉学科	20	口腔生命福祉学科	20	
3年次編入学	6	3年次編入学	6	
工学部		工学部		
機械システム工学科	88	機械システム工学科	88	
電気電子工学科	73	電気電子工学科	73	
情報工学科	64	情報工学科	64	
福祉人間工学科	50	福祉人間工学科	50	
化学システム工学科	78	化学システム工学科	78	
建設学科	78	建設学科	78	
機能材料工学科	49	機能材料工学科	49	
3年次編入学（学部共通）	20	3年次編入学（学部共通）	20	
農学部		農学部		
農業生産科学科	55	農業生産科学科	55	
応用生物化学科	50	応用生物化学科	50	
生産環境科学科	50	生産環境科学科	50	
3年次編入学（学部共通）	10	3年次編入学（学部共通）	10	



平成21年度 入学定員

平成22年度 入学定員

変更の事由

教育学研究科	
修士課程	
学校教育専攻	20
教科教育専攻	32
保健学研究科	
博士課程（前期2年の課程）	
保健学専攻	20
博士課程（後期3年の課程）	
保健学専攻	6
現代社会文化研究科	
博士課程（前期2年の課程）	
現代文化論専攻	15
共生社会論専攻	20
社会文化論専攻	15
現代マネジメント専攻	10
博士課程（後期3年の課程）	
人間形成文化論専攻	4
地域社会形成論専攻	8
国際社会形成論専攻	8
自然科学研究科	
博士課程（前期2年の課程）	
自然構造科学専攻	63
材料生産システム専攻	134
数理・情報電子工学専攻	108
人間支援科学専攻	31
生命・食料科学専攻	73
環境共生科学専攻	78
自然科学研究科	
博士課程（後期3年の課程）	
自然構造科学専攻	17
材料生産システム専攻	19
情報理工学専攻	21
生命・食料科学専攻	17
環境共生科学専攻	15
医歯学総合研究科	
修士課程	
医科学専攻	20
口腔生命福祉学専攻	6
博士課程	
分子細胞医学専攻	22
生体機能調節医学専攻	37
地域疾病制御医学専攻	14
口腔生命科学専攻	32
技術経営研究科	
専門職学位課程	
技術経営専攻	20
実務法学研究科	
専門職学位課程	
実務法学専攻	60

教育学研究科		
修士課程		
学校教育専攻	20	
教科教育専攻	32	
保健学研究科		
博士課程（前期2年の課程）		
保健学専攻	20	
博士課程（後期3年の課程）		
保健学専攻	6	
現代社会文化研究科		
博士課程（前期2年の課程）		
現代文化論専攻	15	
共生社会論専攻	20	
社会文化論専攻	15	
現代マネジメント専攻	10	
博士課程（後期3年の課程）		
人間形成文化論専攻	4	
地域社会形成論専攻	8	
国際社会形成論専攻	8	
自然科学研究科		
博士課程（前期2年の課程）		
数理物質科学専攻	63	専攻の設置（事前伺い）
材料生産システム専攻	143	定員変更
電気情報工学専攻	122	専攻の設置・定員変更（事前伺い）
生命・食料科学専攻	70	定員変更
環境科学専攻	89	専攻の設置・定員変更（事前伺い）
自然科学研究科		
博士課程（後期3年の課程）		
数理物質科学専攻	13	専攻の設置・定員変更（事前伺い）
材料生産システム専攻	16	定員変更
電気情報工学専攻	13	専攻の設置・定員変更（事前伺い）
生命・食料科学専攻	13	定員変更
環境科学専攻	15	専攻の設置・定員変更（事前伺い）
医歯学総合研究科		
修士課程		
医科学専攻	20	
博士課程（前期2年の課程）		改称
口腔生命福祉学専攻	6	
博士課程（後期3年の課程）		
口腔生命福祉学専攻	3	専攻の設置（意見伺い）
博士課程		
分子細胞医学専攻	22	
生体機能調節医学専攻	37	
地域疾病制御医学専攻	14	
口腔生命科学専攻	28	定員変更
技術経営研究科		
専門職学位課程		
技術経営専攻	20	
実務法学研究科		
専門職学位課程		
実務法学専攻	35	

別記様式第2号(その2)

教育課程等の概要

(医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻(博士後期課程))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修コースワーク科目	口腔保健福祉学研究ベーシックコース	1前	2						5						兼3 兼1 兼3 兼6	私ハス 演習 私ハス 講義 -
	アカデミックリーディング	1前	1													
	実践統計学ベーシックコース	1前	1							1						
	小計(3科目)	-	4	0	0				5	1	0	0	0			
専門展開科目	口腔保健管理学特論	1前		2					3	1		1			私ハス 兼3 兼1 私ハス 私ハス 兼1 兼5	-
	摂食嚥下機能評価支援学特論	1後		2					2							
	口腔保健福祉援助学特論	1前		2					1	2		1				
	地域口腔保健福祉学特論	1後		2					2	2						
	アカデミックライティング	1通・2通		2												
	アカデミックリーディング	1後・2後		1						1						
	小計(6科目)	-	0	11	0				6	5	0	2	0			
研究指導	口腔保健福祉学特定研究	1~3通	4						6	5		2				実験・実習
	小計(1科目)	-	4	0	0				6	5	0	2	0	0	-	
合計(10科目)		-	8	11	0				6	5	0	2	0	兼9	-	
学位又は称号	博士(口腔保健福祉学又は学術)		学位又は学科の分野			歯学関係										
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
本研究科に3年以上在学し、所定の単位12単位(必修コースワーク科目4単位、専門展開科目4単位および研究指導4単位)以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、学位論文の審査および最終試験に合格すること。						1学年の学期区分			2学期							
						1学期の授業期間			15週							
						1時限の授業時間			90分							

様式第 2 号 ( その 2 )

教 育 課 程 等 の 概 要															
( 医歯学総合研究科 口腔生命福祉学専攻 ( 博士前期課程 ) )															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通 基礎 必修 科目	口腔保健福祉学研究論	1通	4						4	2					兼2 オムニバス
	生命医療科学総論	1前	2						4	1					兼3 オムニバス
	口腔保健医療福祉援助学総論	1前	2						3	4					兼1 オムニバス
	口腔機能管理支援学総論	1前	2						2	1					兼5 オムニバス
	小計 ( 4 科目 )	-	10	0	0				6	6	0	0	0		兼10
専 門 選 択 科 目	一般口腔保健管理学 A	1前		2					1						
	一般口腔保健管理学 B	1前・後 2前・後		2					1						兼2
	特殊口腔保健管理学 A	1後		2					1						
	特殊口腔保健管理学 B	1前・後 2前・後		2					1						
	摂食嚥下機能評価支援学 A	1後		2											兼2 オムニバス
	摂食嚥下機能評価支援学 B	1前・後 2前・後		2					1						兼1
	口腔保健医療政策学 A	1後		2						1					
	口腔保健医療政策学 B	2前・後		2						1					
	口腔保健推進学領域特別研究	1～2通		8					4	2					
小計 ( 9 科目 )	-	0	24	0				4	3	0	0	0		兼5	
口 腔 医 療 福 祉 援 助 学 領 域 系	口腔医療福祉政策学 A	1前		2						1					
	口腔医療福祉政策学 B	1後		2					1						
	地域口腔保健医療福祉ネットワーク論 B	1後		2					1						
	地域口腔保健医療福祉計画 B	2前		2						1					
	口腔医療福祉援助技術論 A	1後		2						1					
	口腔医療福祉援助技術論 B	2前・後		2					2						
	高齢者・障害者口腔援助学 A	1前		2						1					
	高齢者・障害者口腔援助学 B	2前		2						1					
	口腔医療福祉援助学領域特別研究	1～2通		8					2	4					
小計 ( 9 科目 )	-	0	24	0				2	4	0	0	0			
合計 ( 2 2 科目 )		-	10	48	0				6	6	0	0	0		兼13
学位又は称号	修士 ( 口腔保健福祉学 )			学位又は学科の分野				歯学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
本研究科に 2 年以上在学し、共通基礎必修科目 10 単位および専門選択科目 20 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、学位論文の審査および最終試験に合格すること。								1 学年の学期区分				2 学期			
								1 学期の授業期間				16 週			
								1 時限の授業時間				90 分			

様式第2号(その2)

教 育 課 程 等 の 概 要

(歯学部 口腔生命福祉学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	早期臨床実習 B	1前	2						1				1		
	早期臨床実習 B	2前	1						4	2					
	臨床歯学演習	2前	1						2	1					
	歯科衛生士概論	2前	1						1	2					私ハス
	医療倫理	2前	1												
	人体のしくみ	2前	8							2					
	疾病とその病態	2前	2						1						
	口腔の科学	2前	6						3	1					
	歯科臨床概論	2前	2						3	1					私ハス
	歯科衛生学	2後	8						2	2					
	歯科衛生学実習	2後	3						1	2			3		
	歯科衛生学実習	3前	3						2	2			3		
	歯科衛生学実習	3後	2						1	1			2		
	栄養学	2後	2						1	1			1		
	社会調査法	2前	2						1	1					私ハス
	衛生学・公衆衛生学	2後	2						1	1					私ハス
	歯科診療補助	2後	2						2	3			3		
	歯科診療補助	3後	4						3	2			1		
	高齢者・障害者歯科学	3後	2						1	1					私ハス
	臨床歯科学	2後	1						2	1					
	臨床歯科学	3前	1						3	1					
	臨床歯科学	3後	1						3	1					
	臨床歯科学	4通	1						3						
	保健医療制度	4通	2						1						
	歯科衛生士臨床実習	3通	4												
	歯科衛生士臨床実習	4通	14						5	3			2		
	訪問歯科診療	4通	1						1	1			1		
	社会福祉原論	3前	2						2	1					私ハス
	社会福祉援助技術論	3前	2						1	2					
	社会福祉援助技術論	3後	2						1	2			1		
	地域福祉論	3前	2						2	1					私ハス
	社会福祉行政	4通	1						2	1					私ハス
	社会福祉経営	4通	1						2	1					私ハス
	社会保障論	3前	2						2	1					私ハス
	高齢者福祉論	3後	4						1	2					
	障害者福祉論	3後	2						1	2			1		
	児童福祉論	3前	2						1	2					
	公的扶助論	3前	2						2	1					私ハス
	権利擁護と成年後見	3後	1						2	1					私ハス
	社会福祉援助技術演習	3通	4						1	2					
	社会福祉援助技術演習	4通	1						1	2					
	社会福祉現場実習指導	3前	2						3	4			1		
	社会福祉現場実習指導	4通	1						3	4					
	社会福祉現場実習	4通	4						3	4			1		
	社会福祉原論	4通			2				2	2			1		
	高齢者福祉論	4通			2				3	2					
	障害者福祉論	4通			2				3	2					
	児童福祉論	4通			2				2	2					
	歯科衛生学	4通			2				4	3			2		
小計(49科目)		-	114	10	0		-	6	6	0	3	0			
合計(49科目)		-	114	10	0		-	6	6	0	3	0			

学位又は称号	学士（口腔保健福祉学）	学位又は学科の分野	歯学関係	
卒業要件及び履修方法			授業期間等	
<p>《履修方法》</p> <p>教養教育に関する授業科目 計31単位</p> <p>(1) 英語 6単位</p> <p>(2) 健康・スポーツ 体育実技 1単位</p> <p>(3) 大学学習法 歯学スタディスキルズ 2単位</p> <p>(4) 自然系共通専門基礎より物理学，化学，生物学の細区分から2以上 計4単位</p> <p>(5) 人文社会・教育科学より心理学2単位を含み，法学2単位又は社会学2単位を含む 計8単位</p> <p>(6) 医歯学 医学序説 2単位 ， 医学序説 2単位</p> <p>(7) 留学生基本科目の日本語及び日本事情並びに専門教育に関する授業科目を除く 授業科目のうちから6単位</p> <p>専門教育に関する授業科目 計116単位</p>			1学年の学期区分	2学期
			1学期の授業期間	16週
			1時限の授業時間	90分

授 業 科 目 の 概 要 (医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻(博士後期課程))			
科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
必修 コース ワーク 科目	口腔保健福祉学研究 ベーシックコース	<p>(概要) 口腔生命科学を基盤に保健・医療と社会福祉学領域等との学際的研究を実践していくための基盤として、口腔保健医療福祉の現状と課題について教授するとともに、研究遂行上不可欠となる医療倫理や感染予防等に関する知識・技術を習得する。併せて、事例分析および学内外の論文の批判的論考を通じ、口腔保健医療福祉分野における研究を遂行するにあたって必要となる基本的知識および応用力を体系的に修得する。 (オムニバス方式/全15回) (6 大内章嗣/2回) 口腔保健医療福祉を取り巻く社会背景および医療保険制度、介護保険制度を含む関連社会保障制度の動向について概説するとともに、これらと口腔保健との関わりについて最新の知見を踏まえ論究する。 (14 宮崎秀夫/1回) 途上国支援を中心とした国際口腔保健施策の枠組みと近年の課題および対策の動向について概説するとともに、これを支える国際口腔保健研究の現状について、最新の研究成果を踏まえ論究する。 (17 宮坂道夫/2回) 生命科学領域における生命倫理上の問題について、内外の事例、学説、法制度、社会的背景等について教授する。 (3 小野和宏/2回) 口腔保健管理を進めていくために必須の知識・技術である感染予防および救急蘇生処置を含む全身管理について、その概念、基本的手技をその背景となる科学的根拠を踏まえ教授する。 (15 山村健介/2回) 摂食嚥下障害を理解するための解剖・生理・病因病態について最新の知見を踏まえて概説するとともに、摂食嚥下機能を評価するための分析・記録法について演習を交えて教授する。 (4 富沢美恵子/2回) 障害(児)者の口腔機能の機能獲得・維持を図るための口腔保健管理手法とその評価・研究法に関し、国内外の文献を解説し、批判的論考を加えることにより、今後の研究課題および研究手法に関する知識・技術を習得する。 (2 山崎和久/2回) 歯周疾患を中心とした口腔疾患の予防管理に関して、その病因および歯周疾患と全身疾患の関連について、最新の研究成果を踏まえ教授するとともに、リスクファクターの分析、予防管理法とその効果の評価について、国内外の文献を解説し、批判的論考を加えることにより、今後の研究課題および研究手法に関する知識・技術を習得する。 (1 鈴木 昭/2回) 地域福祉保健の観点からの地域における実践事例を題材に、口腔保健医療福祉に関わる様々な機関、職種の役割と連携のあり方について、多角的な事例分析を行い、ソーシャルワークの基盤となる理論および研究手法を習得する。</p>	オムニバス方式  講義18時間 演習12時間
	アカデミックリーディング	(22 ジャン・ブレゲンズ/8回) 研究を行う上で不可欠である英論文の読解に習熟するため、英文読解力に関するテキストを題材としたコースワークにより、ScanningやContext Cluseなど、文脈から書かれている情報を迅速かつ正確に読み取る技術を修得する。	

科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
必修 コース ワーク 科目	実践統計学ベーシック コース	<p>(概要) 質の高い研究を立案・実施するための主要な項目(研究デザイン、方法・適格基準、サンプル数の設定・割付、エンドポイントとその評価、統計解析など)について、実際の研究事例を用いての講義と演習を組み合わせた形式で修得する。 (オムニバス方式/全8回) (14 宮崎秀夫/1回) 目的、対象等に応じた様々な研究事例を提示し、研究デザインの基本的考え方について教授する。 (18 葭原明弘/1回) 実際の研究事例をもとに、研究デザインの妥当性評価についての理論および留意点を教授する。 (7 八木稔/2回) データ解析に必要な臨床統計学の手法について、実際の研究事例をもとに教授する。 (21 小川祐司/3回) 学生自らが設定した研究デザインモデルに基づき、統計解析ソフトを用いた演習を行う。 (18 葭原明弘/1回) 近年、重要視されている手法であるシステマティック・レビューの概念および手法について、実際の研究事例をもとに教授する。</p>	オムニバス方式  講義 6 時間 演習 10 時間
専門 展開 科目	口腔保健管理学特論	<p>(概要) 健常者および障害者、要介護高齢者等のそれぞれの特性に応じたう蝕、歯周病などの口腔疾患の予防・治療・リハビリテーションに関する最新の知識・技術を教授するとともに、口腔疾患の予防管理に関連する最新の研究成果を交えて当該分野における研究デザイン、評価・解析技法等について論究する。 (オムニバス方式/全15回) (5 福島正義/5回) う蝕、歯周病を中心とした口腔疾患の予防および治療に関する最新の知見を教授するとともに、高齢者・要介護者を中心とした口腔保健管理のための介入法の開発および評価方法について国内外の論文を取り上げながら論究する。 (2 山崎和久/4回) 歯周疾患の病態形成に関する最新の知見を踏まえたリスク分析および全身管理を含めた予防管理法について教授するとともに、歯周病予防管理の評価法や歯周疾患と全身疾患の関連等について国内外の論文を取り上げながら論究する。 (8 ロクサーナ・ステガロユ/2回) インプラントを含め、口腔・咀嚼機能のリハビリテーションとしての歯科補綴の理論および実際について教授するとともに、歯科補綴物を長期にわたり適切に機能させていく観点からの口腔保健管理手法の開発および評価法について国内外の論文を取り上げながら論究する。 (4 富沢美恵子/2回) 小児期の特性に応じた口腔疾患の予防および治療に関する最新の知見を教授するとともに、国内外の論文を取り上げながら効果的な口腔保健管理法の開発および評価手法について論究する。 (12 石川裕子/2回) 歯科衛生士が行う口腔保健指導に関し、栄養管理学的側面も踏まえた指導法の理論と実際について教授するとともに、行動科学に基づいた効果的指導法の開発および評価手法についての国内外の論文を取り上げながら論究する。</p>	オムニバス方式

科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門展開科目	摂食嚥下機能評価支援学特論	<p>(概要)</p> <p>摂食嚥下機能障害者の評価法、指導訓練法、リスク管理およびチームアプローチの理論と実際について最新の知見をふまえながら教授する。加えて、摂食嚥下障害者に対する支援法の開発および評価手法に関する研究デザイン、評価・解析技法等について論究する。</p> <p>(オムニバス方式 / 全15回)</p> <p>(16 井上誠 / 5回)</p> <p>摂食嚥下機能障害の評価・診断・治療およびリハビリテーションの背景となる理論と実際について教授するとともに、評価手法や摂食機能訓練法に関する文献について批判的論考を加えることにより、当該分野における研究デザイン、評価・解析技法について論究する。</p> <p>(3 小野和宏 / 4回)</p> <p>頭頸部領域の先天性疾患や悪性腫瘍により生じた摂食嚥下および言語機能の障害に対する診断・治療・リハビリテーションおよびリスク管理について、その背景となる理論と実際について教授する。加えて、こうした患者に対する口腔保健管理・支援法に関する国内外の文献を取り上げながらその研究手法等について論究する。</p> <p>(15 山村健介 / 2回)</p> <p>摂食嚥下の神経制御機構および加齢変化等について最新の論文を交えて解説し、摂食嚥下機能に関する生理学的研究の動向と今後の展望について教授する。</p> <p>(4 富沢美恵子 / 2回)</p> <p>摂食嚥下機能の障害を有する小児に対する評価・診断・治療およびリハビリテーションの理論と実際について教授するとともに、こうした小児に対する心理的・社会的支援を含めた口腔保健管理の症例分析を行い、今後の研究の課題と方法について論究する。</p> <p>(20 寺尾恵美子 / 2回)</p> <p>言語聴覚士が行う言語・摂食嚥下障害患者に対する治療・リハビリテーションの背景となる理論と業務実際について最新の知見を交え概説するとともに、実例を提示しながら言語聴覚士からみたチームアプローチの現状と課題について教授する。</p>	オムニバス方式
	口腔保健福祉援助学特論	<p>(概要)</p> <p>摂食嚥下に問題を有する要介護者、障害者、有病者等に対する保健医療福祉を通じた総合的な援助(口腔保健福祉援助)を展開していく観点から、こうした対象者の症例分析等を通じて現状と課題を明らかにするとともに、対象者のニーズ把握、効果的援助方法の開発およびその評価法等に関する関係論文等を批判的に論考し、今後の研究手法について演習形式で検討する。</p> <p>(オムニバス方式 / 全15回)</p> <p>(10 隅田好美 / 5回)</p> <p>要介護者・障害者等に対する口腔保健福祉援助を行う際の理論と実践について実例を交えながら教授する。加えて、こうした対象者のニーズ把握に関する質的研究を中心とした国内外の論文を解説し、援助法の開発および評価に関する研究手法について論究する。</p> <p>(11 高橋英樹 / 5回)</p> <p>障害(児)者の置かれている環境とその背景、これらの対象者が抱える課題について実態調査、症例報告等を交えながら概説する。その上で、こうした対象者の健康福祉を実現していくための公的・民間セクターの取組とそのなかで歯科保健医療関係者が果たしている役割について、関係論文、報告書を提示・検証しながら、現状と今後の課題について検討する。</p> <p>(13 柴田佐都子 / 2回)</p> <p>摂食嚥下障害を有する患者等に対する歯科衛生士の業務の実際とチームアプローチについて概説するとともに、歯科衛生士が行う口腔ケアが摂食嚥下障害患者等の口腔機能および生活の質の向上にどのような役割を果たしているか、関係論文を提示しながら論究する。</p>	オムニバス方式



科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門展開科目		<p>(19 定方美恵子 / 2回) 在宅要介護者等に対する看護師の業務の実際と包括的ケアとしてのチームアプローチについて概説する。加えて、口腔ケア、摂食支援における看護師の対応に関する文献等を提示しながら現状と課題について検討する。</p> <p>(6 大内章嗣 / 1回) 地域連携ケア体制の概念とその取組の実際について実例をふまえながら教授する。併せて、その推進のための根拠となっている関係文献を提示し、批判的論考を加えることにより、今後の研究手法等について検討する。</p>	
	地域口腔保健福祉学特論	<p>(概要) 地域社会の特性に基づいた口腔保健福祉活動・施策を推進していく観点から、地域福祉・保健に関する概念、理論および制度等について教授するとともに、地域ニーズの把握、地域ネットワークの形成、施策選択の意志決定過程、評価手法等に関する事例や文献等を踏まえながら論究する。</p> <p>(オムニバス方式 / 全15回) (1 鈴木昭 / 4回) 主に地域福祉の観点から、社会的弱者を含めた住民の生活・健康を守っていくとする取組について、その歴史的経緯、背景となる理論・手法を含め概説するとともに、社会心理学的側面からの支援方策の開発および評価手法についての文献および実践例等を提示し、検討を加える。</p> <p>(6 大内章嗣 / 3回) 口腔保健福祉提供の基盤としての歯科保健医療専門職および介護・福祉職、医療施設や介護・福祉施設等の歴史的経緯・役割、動態、経済状況、ニーズとのマッチング状況等について概説する。こうした理解に立脚したうえで、地域における口腔保健福祉活動の展開のためのネットワークづくりについて事例報告や文献をもとに吟味しながら論究する。</p> <p>(7 八木稔 / 3回) 地域口腔保健活動の背景となる概念・理論およびその取組の実際について、国際的見地からみた我が国の現状を含めて概説する。加えて、口腔保健活動の効果的介入法の開発・評価に関する文献を提示し、検証を加えることにより、今後の研究手法等について考察する。</p> <p>(9 黒川孝一 / 5回) 在宅要介護者・施設入所者の口腔問題に関する実態調査を端緒として、これに対応するための取組がどのように意志決定・展開されたのか、文献や報告書を踏まえながら検討を加え、地域保健福祉の観点からの課題を明らかにする。また、その成果がどのように評価されているか、当該文献等を題材に批判的論証を加え、より効果的な介入方法の開発等に関する研究手法について論究する。</p>	オムニバス方式
	アカデミックライティング	<p>(22 ジャン・ブレゲンズ / 15回) センテンスレベルから始め、最終的には論文の形式に則した英文が記述できるよう段階的なコースワークにより、適切な英論文を執筆する能力を修得する。</p>	
	アカデミックリーディング	<p>(8 ステガロコ・ロクサーナ / 8回) 口腔保健福祉分野に関連した英文を題材に、個別的なコースワークにより専門用語・表現を中心に英論文読解力の習熟を図る。</p>	

科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導	口腔保健福祉学特定研究	<p>他の専門展開科目等の習得を進めるなかで、口腔保健福祉学に関する研究テーマを設定し、関連文献の調査、倫理的配慮に基づいた研究計画・研究手法の設定、分析法等の指導を段階的に行いながら、研究フィールドにおける調査や実験等により得られた研究結果を分析・考察し、最終的に研究論文の作成に至るまでの指導を行う。</p> <p>(1 鈴木昭)</p> <p>ミクロレベルでは、被虐待児、高齢者、障害者等要支援者における食行動を含めた生活習慣の形成と健康指力力の獲得過程に関するアセスメント手法について学習理論等行動科学の視点から概説するとともに、マクロレベルでは地域保健福祉ネットワーク論の立場から地方自治体等と協働し、ポピュレーションアプローチにおける健康水準向上のアウトカム指標の研究開発と指導を行う。</p> <p>(2 山崎和久)</p> <p>歯周疾患の全身に及ぼす影響について、これまでの疫学研究を調査・検討し、その意義及び問題点を抽出する。その上で因果関係を明らかにするために必要な研究方法を考察するとともに、実際に行われている研究の疫学的背景、生物学的意義を理解するための研究課題を設定し、研究指導を行う。</p> <p>(3 小野和宏)</p> <p>口唇口蓋裂をはじめとした先天奇形を有する患者および両親等を対象とした効果的な口腔保健管理および心理社会的サポートの開発に関し、患者および両親等の受容意識や適応パターンの分析、多職種間の望ましい連携の在り方、治療計画立案への患者および両親等の参画とその効果を中心に研究課題を設定し、研究指導を行う。</p> <p>(4 富沢 美恵子)</p> <p>医療・保健・福祉領域の関連をさらに発展させるため、福祉領域における口腔保健活動の及ぼす効果について、児童虐待など小児を取り巻く社会的・環境的要因に着目し、歯科的関与の可能性について倫理的配慮に基づいた研究計画の設定、フィールドにおける調査研究方法や結果の分析方法について研究指導を行う。</p> <p>(5 福島正義)</p> <p>老年歯科医学領域において後期高齢者の生きる力を支える口腔管理（オーラルマネージメント）ガイドラインの開発のために要介護者あるいは自立者に対して有効な口腔機能や清潔度の簡便な評価指標の検討や歯科専門職が関わる口腔管理の有効性についての研究指導を行う。また、歯の変色等、口腔領域の審美的障害に対する治療的対応と心理的ケアを通して、患者のQOLを改善・向上させることを目的に新治療技術の臨床の評価、予後評価、患者心理に与える影響等について研究課題を設定して、研究指導を行う。</p> <p>(6 大内章嗣)</p> <p>地域住民および要介護高齢者等の特定集団を対象とした摂食・口腔機能維持向上のための効果的介入方策の開発に関し、受け手側である住民等および提供者である保健医療福祉従事者等の意識・行動パターン分析、多職種間の連携を促進するためのツール開発とその評価、社会資源・経済面を含めた費用対効果を中心とした研究課題を設定し、研究指導を行う。</p> <p>(7 八木稔)</p> <p>量的なアプローチとしての地域を対象とした保健医療福祉に関する各種指標データベースと数量的なモデルを構築する手法、あるいは質的なアプローチとしての個人および小集団から得られる口頭データを採取する手法を用い、口腔保健福祉学分野における地域、小集団等の課題を統合的見地から明らかにすることを目的とした研究課題を設定し研究指導を行う。</p> <p>(8 スガ口 Rカサ)</p> <p>歯を喪失した場合、インプラントを含む各種歯科補綴装置の適用により、咬合・咀嚼機能の維持・回復が図られており、高齢者の健康保持に重要である。こうした補綴装置を長期にわたり適切に機能させていくために重要となる口腔内各組織への力学的影響を検証し、咬合・咀嚼機能の面から補綴装置の長期維持管理を阻害するリスク要因を簡易に検出する手法の開発等に関する研究指導を行う。</p>	<p>演習・実験・実習の各時間数は、個々の研究指導計画に基づく</p>

科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導	口腔保健福祉学特定研究	<p>(9 黒川孝一)          地方自治体における生活習慣病対策の経験を礎に、生活習慣病予備軍に対する口腔保健管理と生活習慣病予防対策の相乗効果を期待するプログラムの開発、他職種との連携による効果的介入方策について検討し、実践、解析、成人期における中短期的医療経済効果の検証、評価を中心とした研究課題を設定し、研究指導を行う。</p> <p>(10 隅田好美)          要介護高齢者または障がい者、難病患者がその人らしく生きるための支援方策の検討・開発に関する研究課題を設定し、倫理的配慮に基づいた研究計画の策定等の研究指導を行う。特に、対象者の主観的ニーズを質的調査により把握、分析し、社会福祉および歯科衛生士としての理論や客観的根拠に裏付けられた支援方法を検討する。</p> <p>(11 高橋英樹)          保健・福祉・医療に関するニーズを持つ人達を「一人の生活者」として把握し、日常生活圏域のなかでその人の望む質の高い生活の維持または形成に不可欠な保健・医療・福祉の各サービスを包括的かつ統合的に提供するために、地域に分散する様々な資源が相互作用として有機的に機能するためのシステムの構築やその運用に関して、事例に即した地域の分析・アセスメントおよびインターベンションなどのプロセスにそった課題を設定し研究指導を行う。</p> <p>(12 石川裕子)          患者、地域住民、要介護高齢者と保健医療福祉従事者との関係におけるコミュニケーションと情報伝達・提供方法、支援状況等の関係に関する分析を基礎として、行動科学的視点からの効果的な相談支援方法の開発と実施・評価に関する研究課題を設定し、研究指導を行う。</p> <p>(13 柴田佐都子)          原因疾患、ライフステージ等様々な背景を有する摂食・嚥下障害者を対象に、口腔衛生状態の維持に影響する要因について、環境や職種連携を含めた多面的な視点から分析・検討するとともに、これら対象別要因分析に基づいた口腔保健・口腔機能の維持向上のための効果的指導法の開発と評価に関する研究課題を設定し、研究指導を行う。</p>	